

目次4. エlement別のモデリングガイド関係 維持管理段階へ引き継ぐべき情報の考え方（素案）

- 維持管理（FM）は、経営・管理・日常業務の各レベルに分けることができる。建築物ごとに維持管理段階でどのレベルまで求めるかに応じて、維持管理者が必要な情報は取捨選択される。そのため、まずは全てのレベルを満たす、維持管理段階に引き継ぐべき情報内容を整理すべきではないか。
- また、建築生産プロセスの各工程（基本設計・実施設計・施工）で得られる維持管理に必要な情報は異なるため、どのタイミングのデータで必要な情報を維持管理段階に引き継ぐべきか整理すべきではないか。
- それらについては、Elementごとに検討する必要があるのではないか。

■参考 JFMA 2019年8月30日発行 「ファシリティマネジメントのための BIMガイドライン」

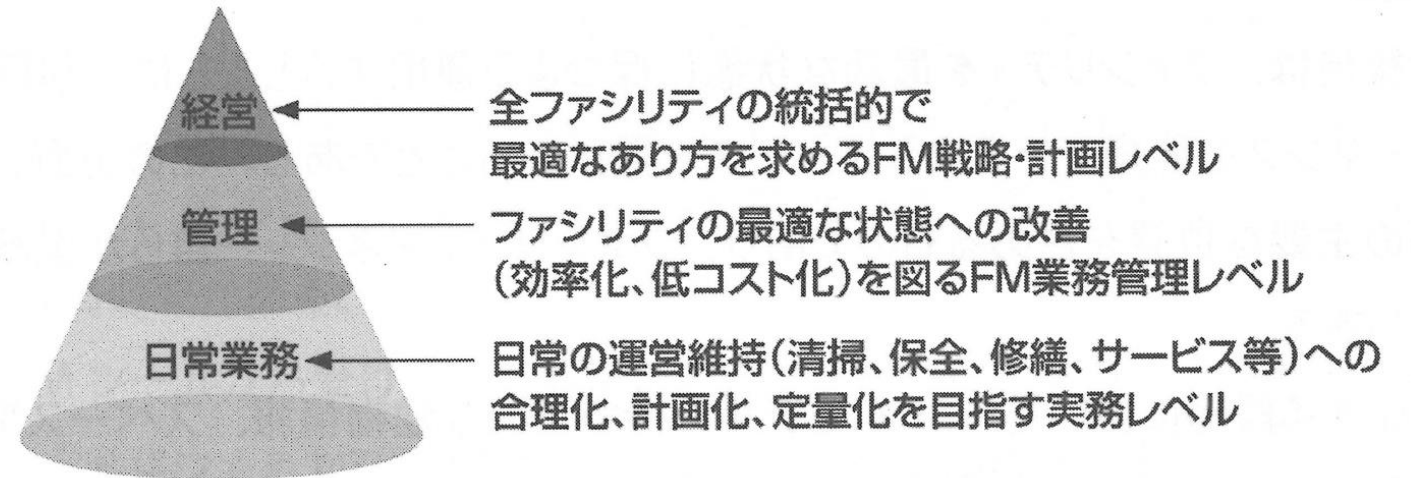


図 FMの3つのレベル（出典：JFMAガイドライン）

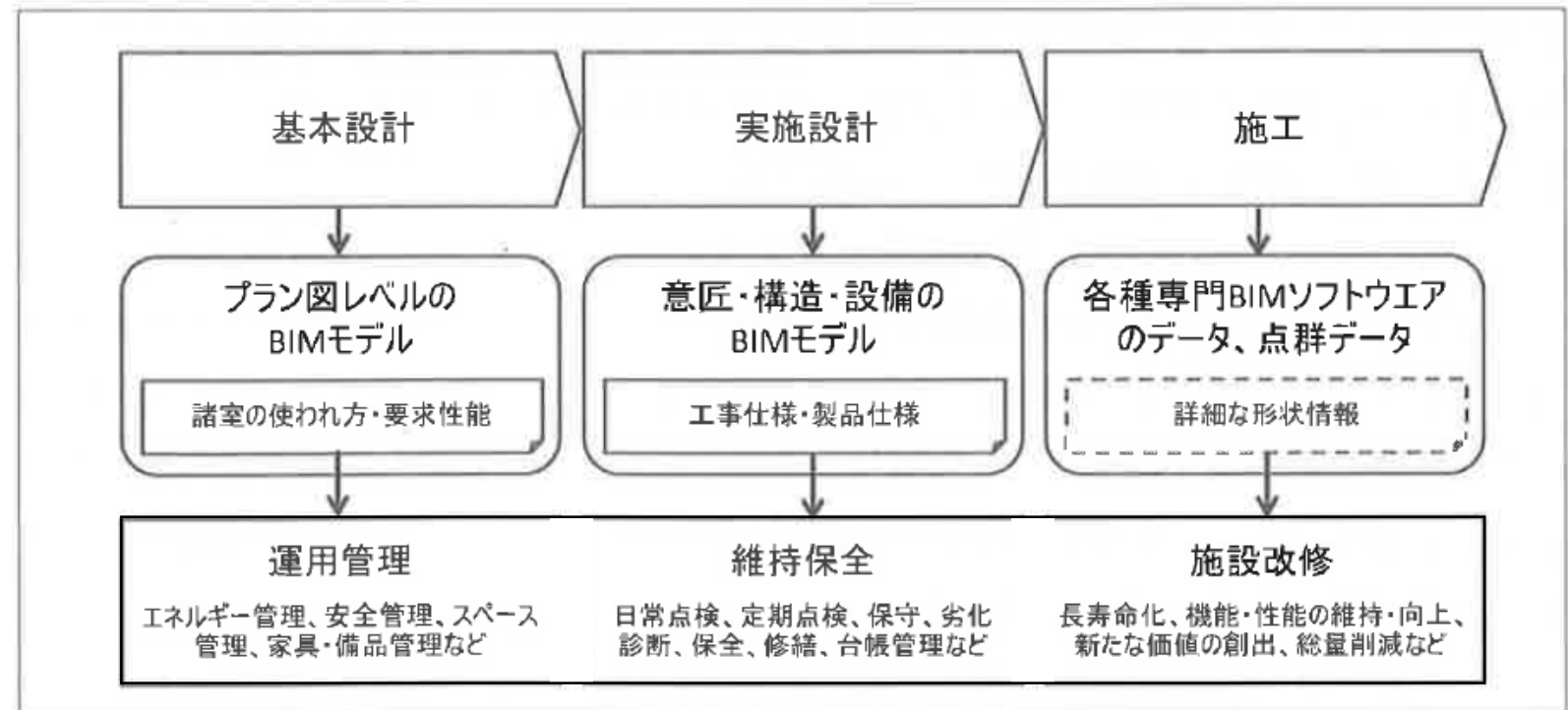
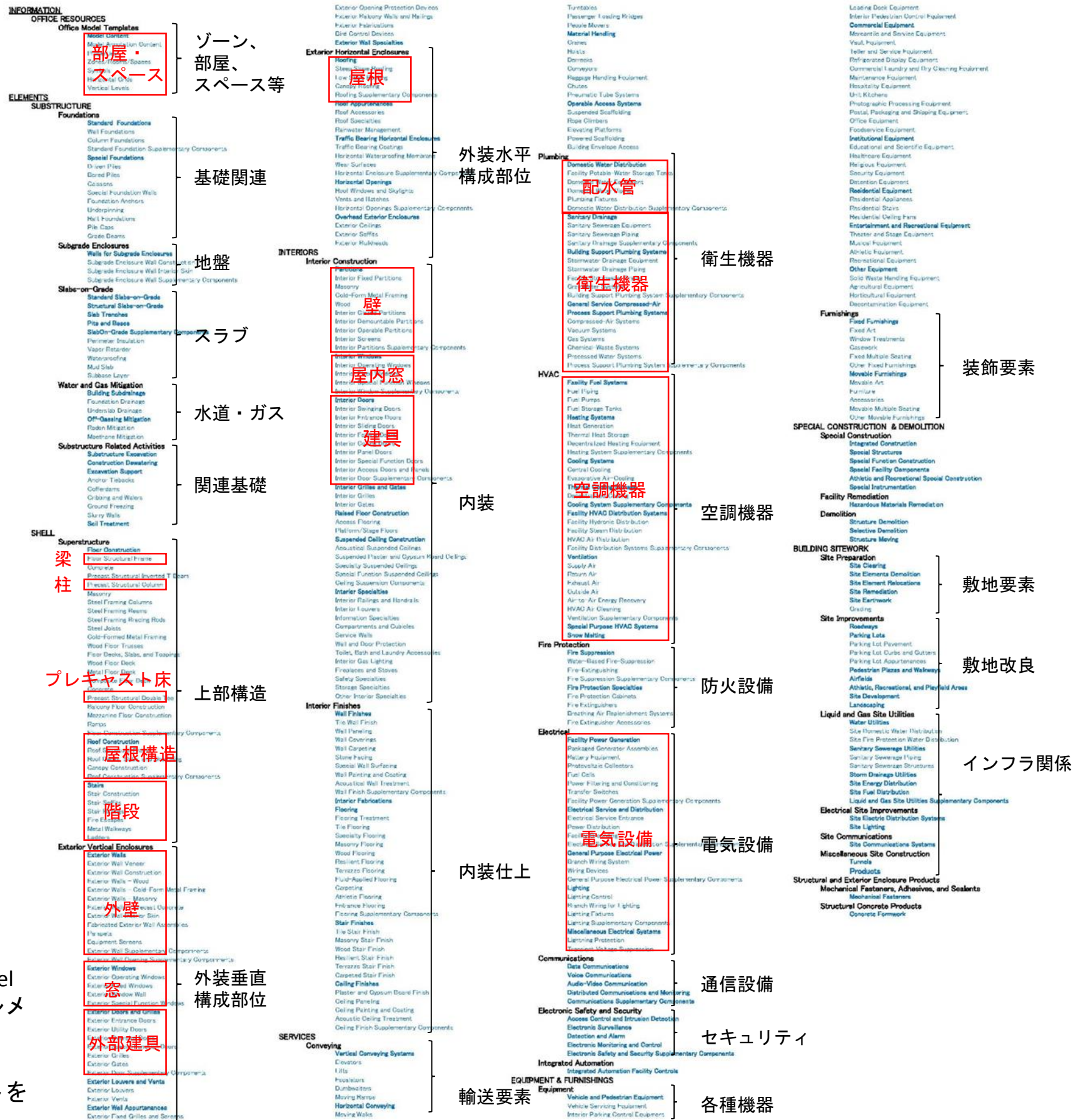
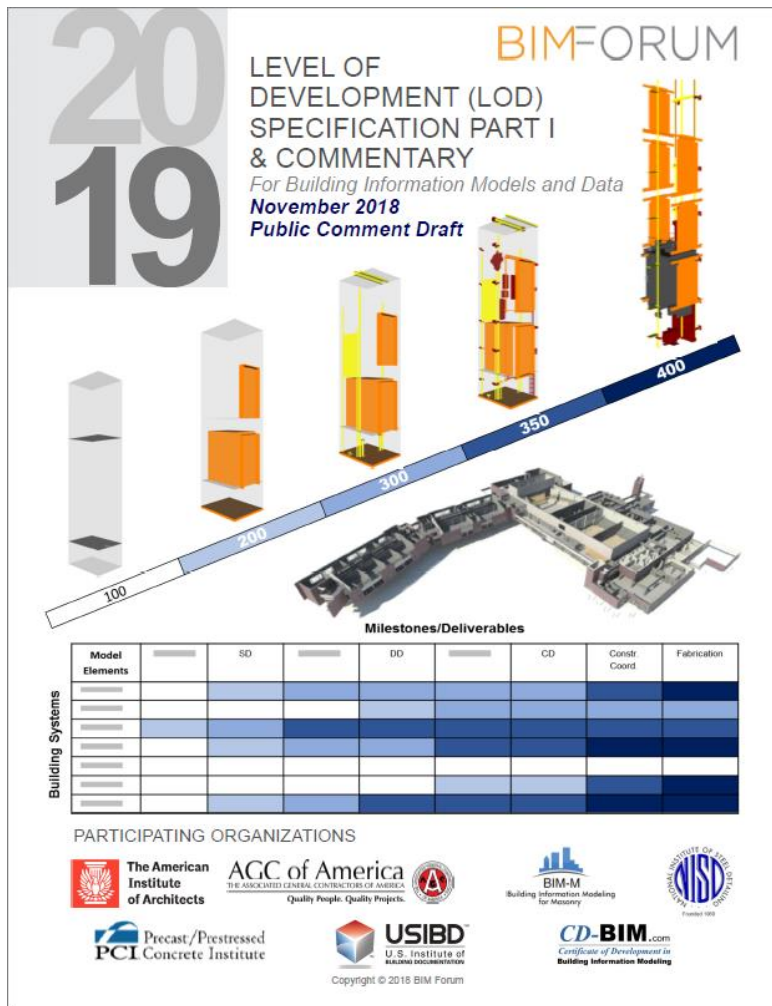


図 建築生産プロセス、BIMモデル、FM業務の関係
（出典：JFMAガイドラインを基に作成）

エレメント別の検討については、
海外の分類体系等を参考にしつつ、
主要な部材等（※）から順次検討を
進めていきます。

※主要オブジェクト（イメージ）：
基礎、壁、柱、床、梁、屋根、階段、外装材、内装材、等

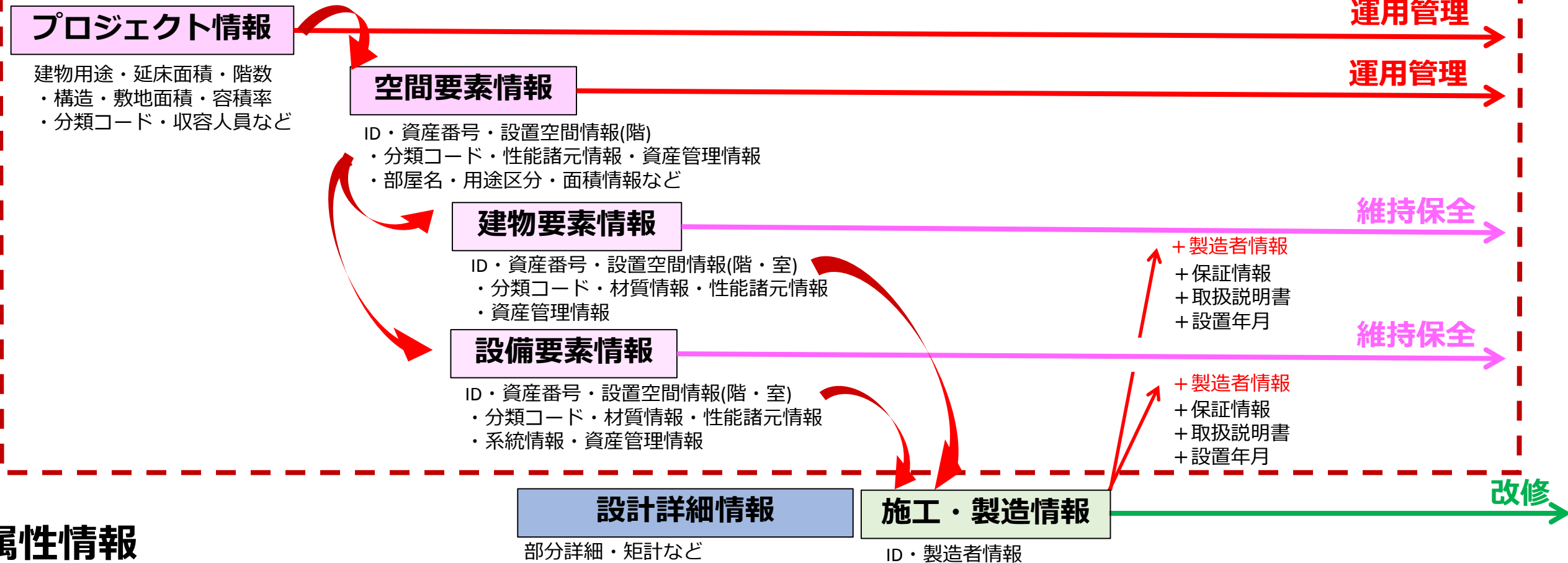
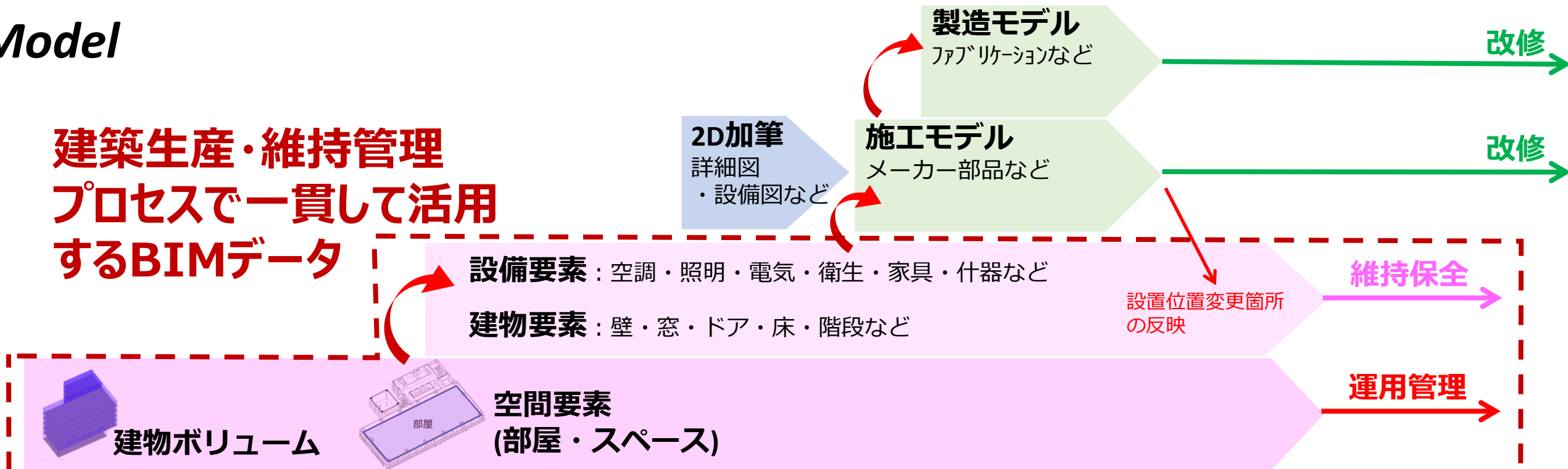


- ・ 右のリストは米国のBIMForumが発行する「Level of Development Specification」2019年版からエレメントを取り出したもの。
- ・ 青い文字はエレメント（約450項目）
- ・ 赤で囲んだ部分は壁、建具等主要なエレメントを取り出したもの。



Model

建築生産・維持管理 プロセスで一貫して活用 するBIMデータ



属性情報